

日進市立小中学校 部活動地域移行検討委員会

令和6年度第2回会議 説明資料

令和6年12月24日
日進市学習政策課

目次

はじめに	日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会について	1
1	部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について	2
2	令和6年度に実施している取組の進捗状況について	6
3	中学生向け部活動に関するアンケートについて	11
4	中学校部活動の今後の方針（案）について	19

はじめに 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会について

目的

国の方針（令和4年12月）及び本市の学校部活動の現状と課題を踏まえて、今後の子どもたちの多様な体験の機会の確保や、学校部活動について地域と連携した持続可能な運営を図るために必要な事項を検討、審議することを目的とする。

検討委員会の位置付け

日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会設置条例に基づき、日進市の学校部活動に関し、必要な事項を審議する教育委員会の附属機関

令和5年度の検討結果（小学校部活動）

- 令和7年度末をもって廃止する
- 球技大会等の全市的な行事の開催は令和6年度までとする
- 令和7年度は移行期間とし、部活動の実施は各小学校の裁量とする

令和6年度の検討事項

中学校部活動の在り方について

1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

国 【運動部活動】スポーツ庁、【文化部活動】文化庁

1 地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議

- 第1回 (令和6年8月23日)
- 第2回 (令和6年12月10日) ⇒中間骨子とりまとめ
- 第3回 (令和7年春ごろ) ⇒**最終とりまとめ**

2 (分科会) 地域スポーツクラブ活動ワーキンググループ (スポーツ庁)

- 第1回 (令和6年8月29日)
- 第2回 (令和6年9月18日)
- 第3回 (令和6年10月23日) ⇒中間とりまとめ骨子案が出される。
- 第4回 (令和6年度中)

3 (分科会) 地域文化芸術活動ワーキンググループ (文化庁)

- 第1回 (令和6年9月3日)
- 第2回 (令和6年9月26日)
- 第3回 (令和6年10月24日) ⇒中間とりまとめ骨子案が出される。
- 第4回 (令和6年度中)

1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

国：中間とりまとめ骨子案の概要（詳細は資料2参照）

- ・改革の理念として、**「子供たちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保」**が主目的と明記。
- ・「生徒のための改革」とうたった、「改革の理念」をはじめ、「地方公共団体に伝えるべきこと」「地域クラブ活動の在り方」「学習指導要領による取扱い」などの7項目で構成。
- ・「地域移行」の名称は、「ただ地域に移すだけというイメージで誤解を招きやすい」ため、**「地域移行」から「地域展開」への名称の変更**を提案。
- ・地域移行の具体的手法を考えるにあたり、**「教員の負担軽減が図られること」**についても考慮。
- ・令和5年度から令和7年度までを部活動の「改革推進期間」としているが、**令和8年度からの6年間を「改革実行期間」と位置づけ**、平日の活動についても地域への移行、連携を推進。
- ・学習指導要領での部活動規定について、「教育的意義を有する活動」であり「地域クラブと学校との連携が重要」とした上で、来春予定の最終とりまとめまでに議論を深める。
⇒ **「学校教育の一環」ではなく「社会教育であることを明確にすべき」**との意見があった。

1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

愛知県 【運動部活動】保健体育課、【文化部活動】あいちの学び推進課

1 愛知県部活動の地域移行・地域連携協議会

- 令和6年5月9日（木）
- 令和6年10月7日（月） ⇒ 部活動の地域移行・地域連携マッピング（資料3）
- 令和7年1月30日（木）

2 運動部活動地域移行推進事業意見交換会（オンライン）（保健体育課）

- 令和6年8月21日（水）
- 令和6年12月25日（水）

3 文化部活動地域移行推進（実証）事業意見交換会（オンライン）（あいちの学び推進課）

- 令和6年9月20日（金）

1 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について

近隣自治体（※中学校部活動の検討状況）

	実績		予定	
	R5	R6	R7	R8
瀬戸市	<ul style="list-style-type: none"> 関係者による検討 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員の一部導入 アンケート実施（児童生徒） 	<ul style="list-style-type: none"> 活動時間の市内統一 検討委員会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 検討中
尾張旭市	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会の設置 部活動指導員の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の方針・方向性を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 体制・制度を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 検討中
長久手市	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会の設置(R4) アンケート実施（児童生徒・保護者・教職員） 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者説明会実施 民間事業者による休日地域クラブの実施（業務委託）（R6.9～） 	<ul style="list-style-type: none"> 休日の地域移行の課題を検証 	<ul style="list-style-type: none"> 平日部活動の地域移行に関する検討
豊明市	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会の設置 アンケート実施（生徒・教職員） モデル事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 運営団体の募集 モデル事業の拡大（課題の整理・改善） 大会出場に向けて調整 	<ul style="list-style-type: none"> 運営団体の募集 モデル事業の拡大（課題の整理・改善） 大会出場に向けて調整 	<ul style="list-style-type: none"> 休日の地域移行開始 大会出場に向けて調整
東郷町	<ul style="list-style-type: none"> 関係者による検討 アンケート実施（生徒・保護者） 	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 体制・制度を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者による休日地域クラブの実施（業務委託）（R8.9～）

2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について

(1) 部活動の地域移行に係る市内スポーツ団体の活動の周知について

【日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会令和5年度中間報告】

児童の体験活動機会の確保のため、**市内のスポーツ文化芸術団体等の活動を積極的に周知する**とともに、放課後子ども教室等の放課後活動の充実に向けた準備を進める。

⇒日進市スポーツ協会及び日進市文化協会を通じて加盟団体へ協力を依頼

4 団体の活動について、市ホームページでの周知を開始した。

現在の位置

ホーム > 部活動 > 部活動の地域移行に係る市内スポーツ団体の活動の周知について

部活動の地域移行に係る市内スポーツ団体の活動の周知

ID番号: N16149 更新日: 2024年10月09日

市内スポーツ・文化芸術団体等の活動の周知

国では令和4年12月に「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関する総合的ガイドライン」を示し、「学校部活動の地域移行」を進めています。

本市では、部活動の地域移行を進めるうえで、児童・生徒の体験活動機会を確保するため、市内のスポーツ・文化芸術団体等の活動を積極的に周知しています。

小学生、中学生が参加できる地域団体等を下記のとおりまとめていますので、ご活用ください

各団体の掲載の掲載したい場合は、団体名をクリックしてください。

また、本ホームページへの登録を希望される団体等の方は、学習支援課学習活動係へご連絡ください。

- 1 スポーツ
- ドッジボール
 - 日進レイクスピリット (PDFファイル: 75.06KB)
- バスケットボール
 - 日進ミニバスケットボールクラブ (PDFファイル: 91.66KB)
- サッカー
 - FCにアッコ (PDFファイル: 139.4KB)
- 格闘技
 - 日進市格闘技協会・日進ランニングクラブ (PDFファイル: 47.36KB)

この記事に関するお問い合わせ先

学習支援課学習活動係
 電話番号: 0561-74-4169 ファクス番号: 0561-74-0258
 ご意見・お問い合わせは専用フォーム

地域スポーツ・文化芸術団体紹介シート

フリガナ	ニッシンレイクスピリット		メンバー数	21 人
団体名	日進レイクスピリット			
活動種目	スポーツ系 (ドッジボール) ・ 文化系 ()		うち市内	20 人
会費	<input type="checkbox"/> 年会費 <input type="checkbox"/> 入会金	円 円	<input checked="" type="checkbox"/> 月会費 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (スポーツ保険)	1600 円 800 円/年
活動目的	<input checked="" type="checkbox"/> 競技力向上 <input type="checkbox"/> 新メンバーづくり <input type="checkbox"/> 仲間づくり			
主な活動場所 (※全国展開している団体、住所を記載してください。)	日進市内小学校体育館			
活動時間	本	(午後) 7 時から (午後) 9 時まで		
	日	(午前) 8 時から (午後) 0 時まで		
対象	小学生			
対象のレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 初心者 (これから始めたい) <input checked="" type="checkbox"/> 初心者 (やったことがある) <input checked="" type="checkbox"/> 中級者 (ルールを知っている・経験がある) <input type="checkbox"/> 上級者 (大会・コンクールを目指したい)			
体験会	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2024年11月9日) <input type="checkbox"/> 無			
団体例	公式ドッジボールチーム「日進レイクスピリット」は、市内小学生を対象に2022年三輪組いたしました。試合は1チーム12名で5分間と短く、チームワークの大切さと集中力を養うことができる小学生向けのスポーツです。部活を通して集中力、自主性、感謝、礼儀、勝ち負けを意識した子供中心の活動に取り組んでおります。			
活動の様子				
連絡先	フリガナ	アシダ	セイコ	
	氏名	声田	聖子	
	電話番号	-		
Eメール	ashida_hisa202@yahco.jp			

※詳細につきましては、団体にご確認ください。

2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について

(2) 小学校放課後活動実証事業

対象校	北小学校
対象児童	北小学校の1年生から6年生の児童
期間	9月から11月までの月曜日、木曜日 (全21回)
種目	eスポーツ、ダンス体験、プログラミング、サッカー、バドミントン、日本の遊び体験、バレーボール、図画工作
参加費	100円～300円（種目に応じて）

種目	eスポーツ	ダンス体験	プログラ ミング	サッカー	バドミン トン	日本の遊 び体験	バレー ボール	図画工作
回数	4	3	4	2	2	2	2	2
延べ 参加者	72	56	78	25	42	27	39	33
平均 参加者数	18	18.6	19.5	12.5	21	13.5	19.5	16.5

(令和6年12月15日時点)

2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について

小学校小学校放課後活動実証事業の考察

【成果】

- ・多くの児童が参加した。子どもを預けたいという保護者のニーズが高かったと考えられる。
- ・これまでの部活動には無い、新しい体験活動を小学校で行うことができた。
- ・指導者は、主に本市に縁のある方に依頼することができた。

【課題】

- ・指導者が2人では目が行き届かない場合があった。
⇒現在の放課後子ども教室の規模のままで学びのプログラムを実施することは難しい。
- ・忘れ物があった際など、教職員へ協力をお願いすることがあった。
⇒教職員への負担なく完結させるには、事業者や保護者にも学校教育活動とは異なる旨を理解してもらう必要がある。
- ・下校時に実証事業参加者へ呼びかけ、集まってもらう必要があった。
また、申し込みをしていないが参加者として集まっていることもあった。
- ・保護者のお迎えを必須としていたが、迎えに来ない場合があった。
また、お迎えの車が多く、放課後子ども教室の駐車場が満車になることがあった。
- ・体育館はセキュリティが分かれているが、特別教室は校舎と一体となっている。
様々なプログラムに柔軟に対応するためには、特別教室（及び入り口からの移動経路）のセキュリティを切り分ける必要がある。

2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について

(3) 中学校地域クラブ活動実証事業

対象校	日進東中学校
対象生徒	日進東中学校の1年生及び2年生の生徒
期間	9月から12月までの土曜日、日曜日、月曜日（祝日） （全36回（中止11回、振替5回））
種目	eスポーツ、茶華道、プログラミング、サッカー、バドミントン、卓球、吹奏楽
参加費	100円～300円（種目に応じて）

種目	eスポーツ	茶華道	プログラ ミング	サッカー	バドミン トン	卓球	吹奏楽
回数	6	3	3	9	1	8	6
延べ 参加者	21	3	6	53	2	109	69
平均 参加者数	3.5	1	2	5.9	2	13.6	11.5
中止回数	—	4	5	—	1	1	—

（令和6年12月23日時点）

補完

補完

補完

2 令和6年度に実施している取組の進捗状況について

中学校地域クラブ活動実証事業の考察

【成果】

- ・部活動を補完する活動として、専門的な技術・知識を持った指導者による指導を受けることができた。
- ・これまでの部活動には無い、新しい体験活動を中学校で行うことができた。
- ・指導者は、主に本市に縁のある方に依頼することができた。

【課題】

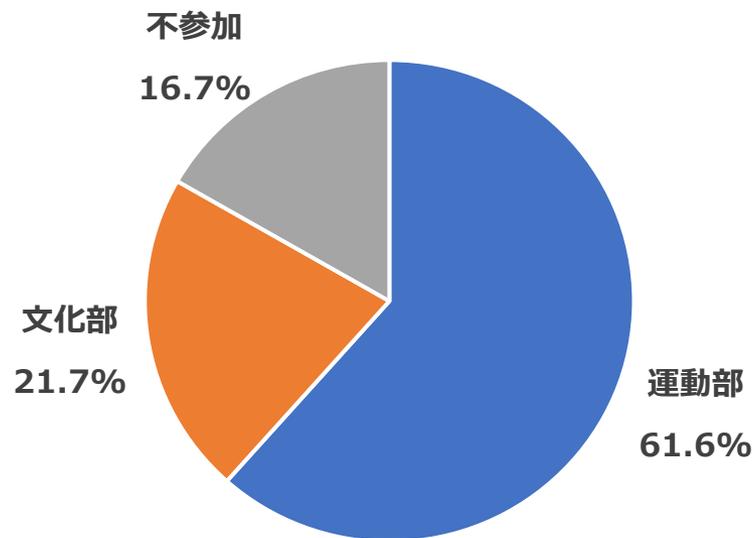
- ・土曜日、日曜日に実施したためか、参加者が少なかった。
- ・セキュリティの解除等で、教職員へ協力をお願いすることがあった。
⇒教職員にも、事業者が利用していることを周知・理解してもらう必要がある。
- ・実証事業で利用する予定の体育館等が部活動で利用されていることがあった。
⇒中学校との事前協議（セキュリティの解除方法、事業実施中の看板設置等）、及び情報共有の徹底が必要。
- ・体育館と武道場はセキュリティが分かれているが、特別教室は校舎と一体となっている。様々なプログラムに柔軟に対応するためには、特別教室（及び入り口からの移動経路）のセキュリティを切り分ける必要がある。
- ・無断キャンセルの対応について、指導者への謝礼を考えると、受益者負担は1回ずつではなく、月払いのほうが良い。

3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

(1) 中学校部活動の登録者数 ※令和6年5月現在（3年生含む）

- 中学校の部活動は、運動部に約62%、文化部に約22%の生徒が所属
- 年度当初は、全体の80%以上の生徒が部活動に登録

中学校	人数	割合
運動部 登録者数	1,761	61.6%
文化部 登録者数	621	21.7%
部活動 未登録者数	478	16.7%
合計数	2,860	100%



3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

(2) 中学生向け部活動に関するアンケート調査の概要

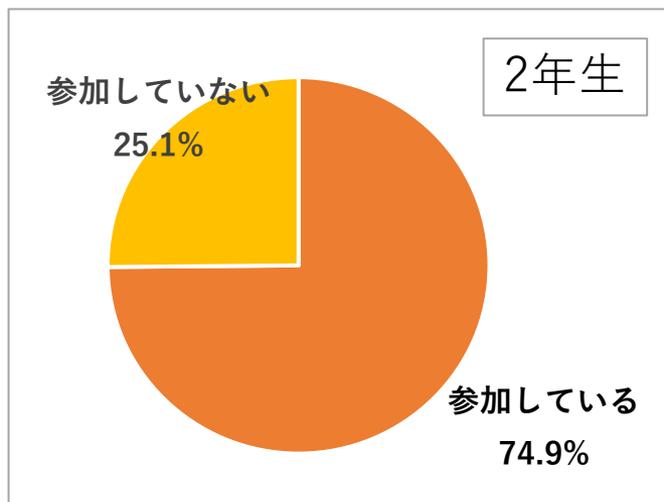
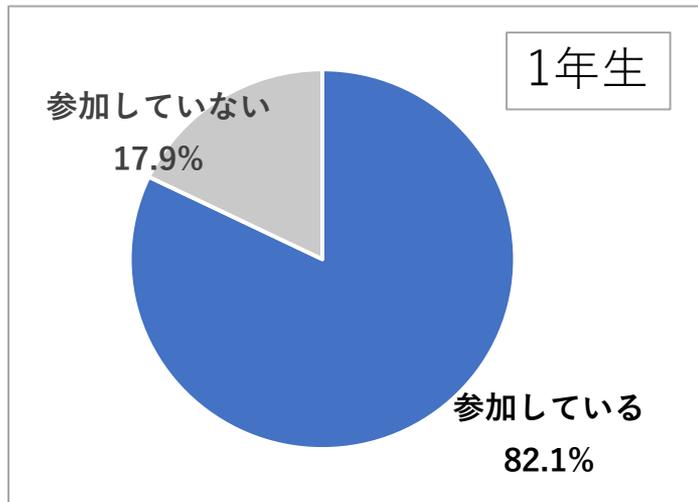
- 1 回答期間** 令和6年11月29日（金）から12月13日（金）まで
- 2 対象** 日進市内の中学校の生徒（1～2年生）及びその保護者（生徒1人につき1アンケート）
- 3 回答率**

	生徒数（※）	回答数	回答率
1年生	1,034人	448件	43.3%
2年生	904人	362件	40.0%
不明	—	1件	—
合計	1,938人	811件	41.8%

※生徒数は令和6年12月1日現在の数字

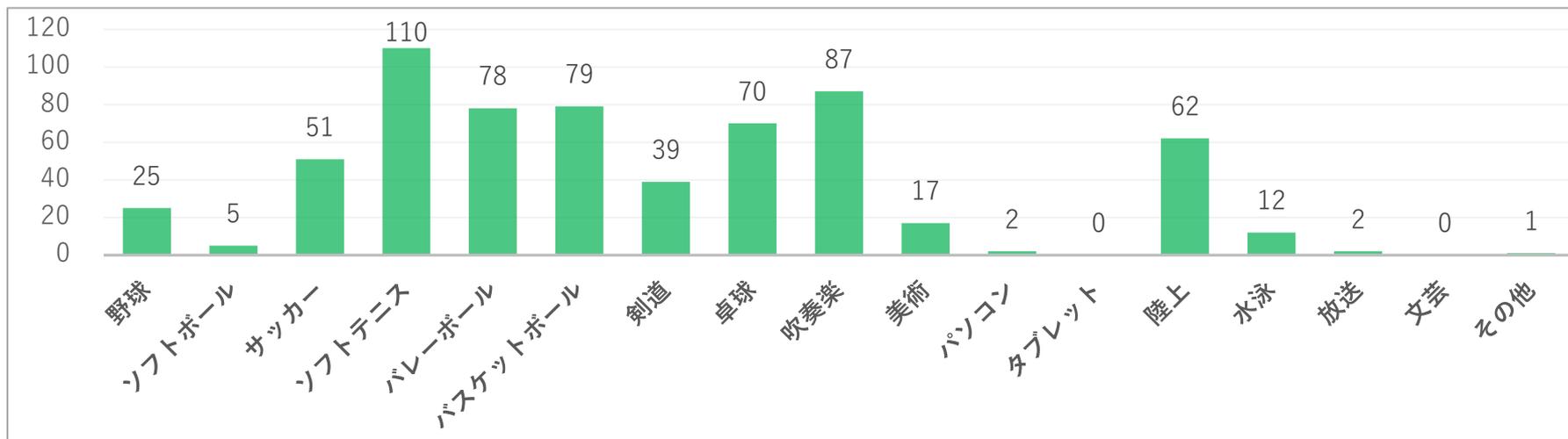
3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

Q：お子様は休日の部活動に参加していますか。



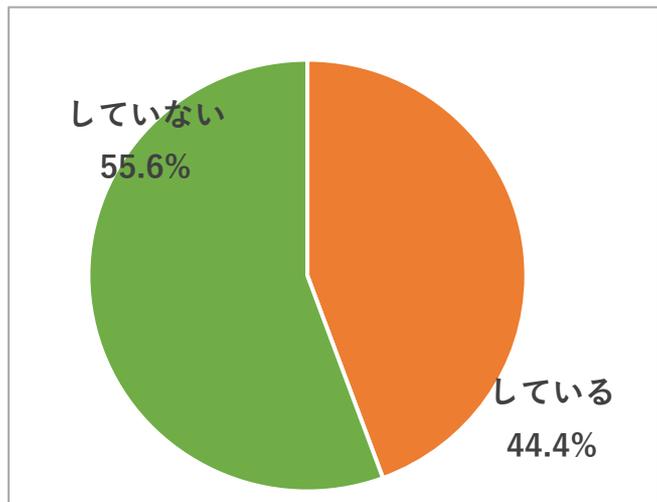
2年生になると、参加率が減少しています。
部活動の種目としては、運動部が多くを占めています。

Q：参加している部を選んでください。



3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

Q：お子様は休日に部活動以外の習い事をしていきますか。

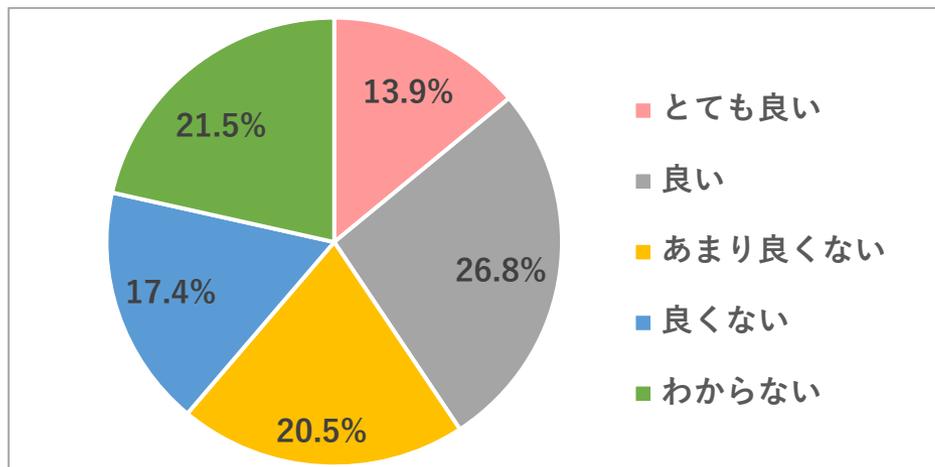


44.4%の生徒が休日に部活動以外の習い事をしていきます。

習い事の種目は、多岐に渡っており、学習系では学習塾が一番多く、その他はそろばん、プログラミングなどが挙げられています。

スポーツ系はサッカーや野球、バスケットボール、ダンス、水泳など多くの種目が挙げられています。文化芸術系では、ピアノが多く、その他は合唱や書道、日本舞踊なども挙げられています。

Q：教職員の業務負担軽減が求められています。休日の部活動の回数を現在のおよそ月4回から回数を減らすとしたら、どう思いますか。

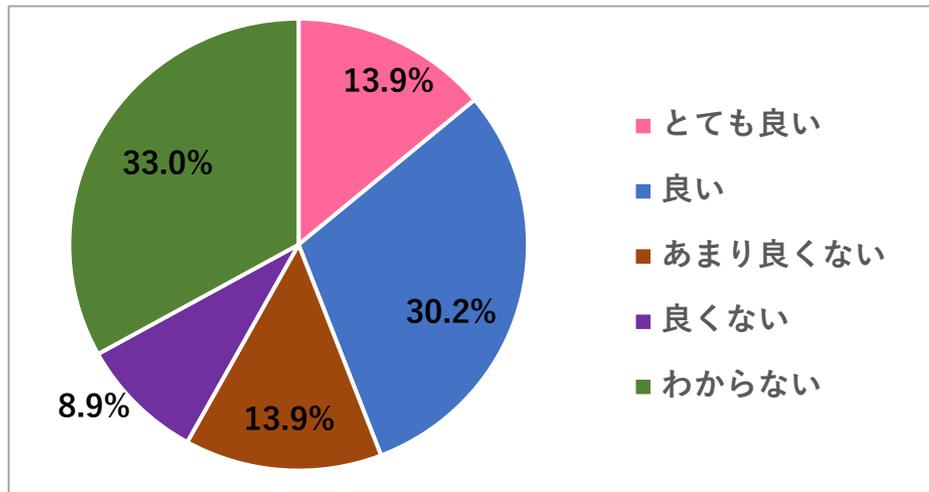


「とても良い」「良い」を合わせた40.7%が回数を減らすことに賛成と回答をしています。

「あまり良くない」「良くない」を合わせた37.9%の人は、回数を減らしたくないと回答しています。

3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

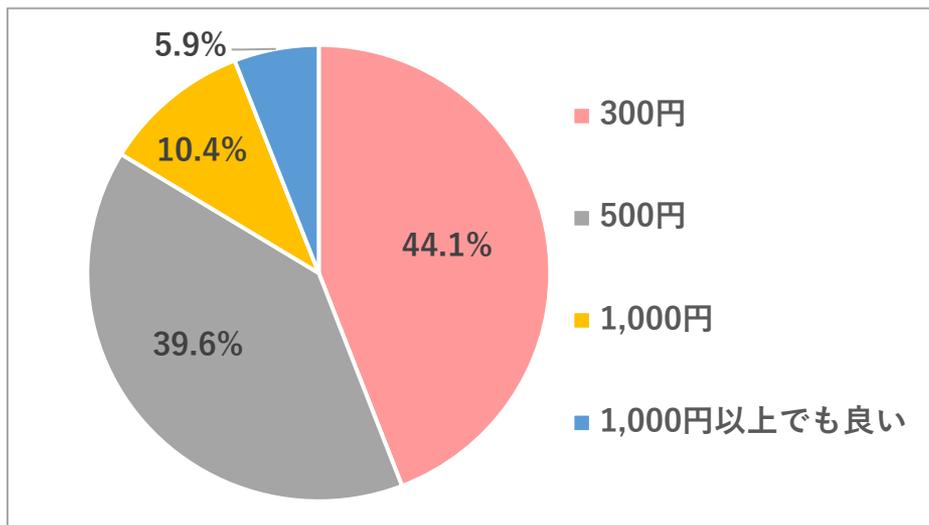
Q：休日の部活動を地域移行していく取組についてどう思いますか。



「とても良い」「良い」を合わせると約44.1%が部活動の地域移行に賛成と回答しています。

「あまり良くない」「良くない」を合わせた22.8%の人は、地域への移行を良くないと回答しています。

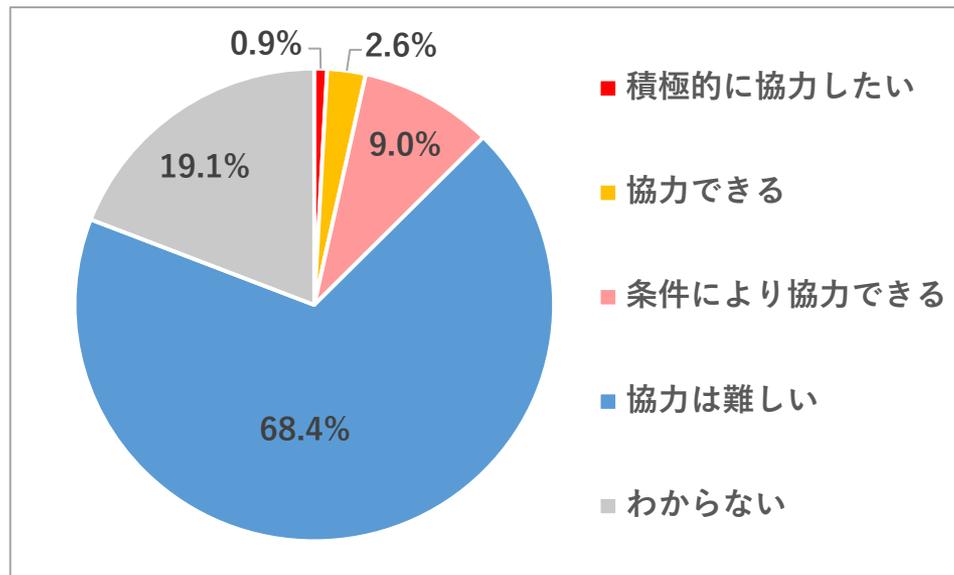
Q：地域クラブに参加する場合は、参加費（受益者負担）が発生します。1回あたりの費用負担はいくらぐらいが適当だと考えますか。



参加費（受益者負担）については、300円または500円と回答した人が合わせて83.7%と、大半を占めています。

3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

Q：教職員の業務負担軽減が求められています。教職員が指導する部活動に代わる地域クラブの指導者を募集した場合、指導に協力することは可能ですか。



「積極的に協力したい」「協力できる」「条件により協力できる」割合は12.5%を占めます。地域の指導者が潜在的に一定数いることが分かります。

「協力できる」と回答いただいた人には指導できる種目を任意で確認しています。回答のあった種目は次のとおりです。

【学習系】 パソコン、タブレット

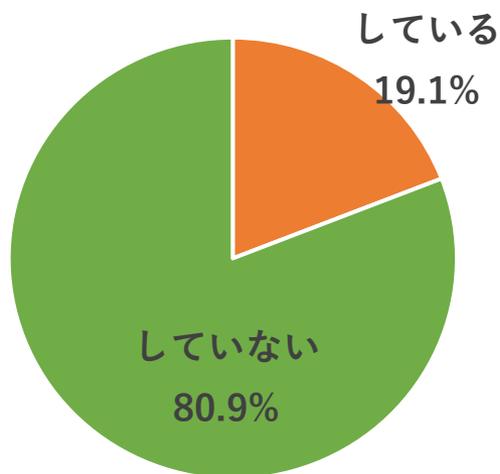
【スポーツ系】 野球、サッカー、ソフトテニス、バスケットボール、ソフトボール、バドミントン、バレーボール、剣道、陸上、水泳、水球、アーティスティックスイミング、高飛び込み

【文化芸術系】 歌、吹奏楽、美術、手芸

【その他】 雑用等のサポート業務、送迎

3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

Q：現在、子どもたちの部活動を補完する活動（※部活外の複数人による自主練習（いわゆる「外部練」））を有志で継続して実施されていますか。



部活動を補完する活動を実施している、と回答いただいた人に種目を任意で確認したところ、7割がスポーツ系、3割が文化芸術系の活動との回答でした。

回答のあった種目は次のとおりです。

【スポーツ系】 ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、剣道、水泳、体幹トレーニング

【文化芸術系】 吹奏楽、美術

3 中学生向け部活動に関するアンケートについて

■ 休日の活動について

- ・多くの生徒（78.9%）が休日に部活動に参加している。「休日の部活動」と「部活動以外の習い事」についてクロス集計すると、休日部活動に参加している生徒で部活動以外の習い事に参加している率は39.5%、休日部活動に参加していない生徒で部活動以外の習い事に参加している率は62.6%となっており、休日に部活動をしていない生徒も、部活動以外でなんらかの活動を行っている割合が高い。

■ 休日の部活動のあり方について

- ・休日の部活動の回数減少については、40.7%が「良い」と回答する一方、ほぼ同割合の37.9%が「良くない」と回答している。地域移行に関しては、37.9%が「良い」と回答し、22.8%が「良くない」と回答している。「部活動」か「地域クラブ」かの違いよりも「活動回数の維持」が重要だと考えられる。

■ 費用負担について

- ・種目によって必要経費が異なるため、種目ごとに金額設定する必要があるが、高額な実費負担が必要となる種目・指導は求められていない。

■ 保護者による指導について

- ・12.5%の保護者から、時間帯や報酬等の条件によっては、子どもの指導に協力をしても良いとの回答があった。今後、4中学校で様々な種目を実施するためには、地域の団体だけでなく、個人へも協力をお願いし、指導者の発掘・育成を図る必要がある。

■ 部活動を補完する既存活動（外部練）について

- ・既に部活動を補完する活動（外部練）が一定数実施されている。現在実施中の活動を整理し、状況把握や体制整備を行うことで、地域移行を担う団体となる可能性がある。

4 中学校部活動の今後の方針（案）について

教職員の負担軽減

- ・教職員の業務は非常に多くなっており、国の中間とりまとめからも教職員の負担軽減を進めることは不可欠な状況となっている。
- ・部活動の顧問として土、日に出勤している回数を減らすことは、教職員の負担軽減に繋がる。

教職員の兼職兼業

- ・教職員の中には、積極的に部活動の指導をしたい方もみえる。
- ・月45時間以上月80時間まで、教職員の「兼職兼業」を認めている自治体もあるが、教職員の負担軽減とは相反する考え方である。

部活動を補完する地域移行

- ・中学校での実証事業では、「部活動を補完する活動」の参加者が多かった。
- ・アンケートでは「部活動でなくても活動回数は維持したい」という傾向がみられた。
- ・休日部活動の回数を縮減するのであれば、「部活動を補完する活動」が実施できるよう検討を進める。

休日部活動の上限を月4回程度から月2回へ縮減することが望ましい。

部活動地域移行に係る教職員の「兼職兼業」は当面对象外とし、部活動を存続する。

事業の持続可能性を高めるため、財政的な負担が少なく、地域のリソースを活かす形で「部活動を補完する活動」の体制を検討する。

休日部活動の縮減時期の事務局案

- ・「部活動を補完する活動」の体制の検討や生徒・保護者への周知を十分に行うため、休日部活動を月2回に縮減する時期は「令和8年9月から」又は「令和9年4月から」とする。その後、「部活動を補完する活動」の体制整備が整った種目から徐々に部活動回数を縮減し、最終的に休日部活動は無くしていく方針としたい。
- ・部活動は存続することとし、大会等への出場は顧問の引率で行う。部活動の廃止時期については、全国の部活動地域移行の進捗状況を踏まえて、改めて検討したい。

5 中学校部活動の今後の方針（案）について

